



## すこやか編集会議メンバーおすすめコース

### ウォーキング de 健康に！<北和エリア編>

ならまちは、平城京の「外京」としてたくさんの寺院が建てられました。

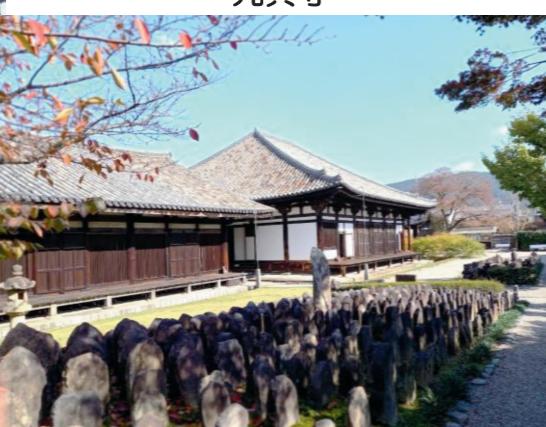
中世以降は元興寺の旧境内に様々な産業が発展し、江戸時代の末期から明治時代にかけて町家が多く建てられ今のような街並みができました。そんな街並みを楽しみながらウォーキングしてみてはいかがですか？ 所要時間は2時間ほどのコースです。

近鉄奈良駅→猿沢池→元興寺→奈良町資料館→庚申堂→ならまち格子の家→名勝旧大乗院庭園→近鉄奈良駅

➡ 平坦なコースですが、車の通る道もありますので安全には気をつけてください。



**奈良町情報館**  
「ならまちお散歩マップ」など奈良町の情報を入手してからスタート



718年に飛鳥の法興寺（飛鳥寺）が元興寺（世界文化遺産）として平城京に移されたといわれています。極楽堂・禅室（ともに国宝）の屋根の一部には、今も飛鳥から運ばれた日本最古の瓦が葺かれています。



**ならまち格子の家**  
ならまちの伝統的な町家を再現した建物は昔ながらの知恵が詰まった空間です。



**今西家書院**  
室町時代初期の書院造を伝える重要文化財で、四季折々の庭を楽しむことができます。



#### 奈良町資料館

ならまちに古くから伝わる民具や絵看板、古美術品など歴史資料を展示しています。庚申（こうしん）信仰の本尊・青面金剛（しょうめんこんごう）や吉祥天女がまつられています。

#### 庚申堂

「庚申さん」と呼ばれる。庚申信仰の拠点。



少し足をのばして、室町中期に善阿弥が作庭したと伝わる庭園へ奈良町観光の休憩に寄ってはいかがですか？文化館には大乗院の復元模型などがあります。

#### 旧大乗院庭園

奈良ホテル南に隣接する、室町時代に活躍した作庭の名手善阿弥によって改造された数少ない中世の遺構を残す庭園。



### 食生活でフレイル予防！

年齢を重ねることにより心や体のはたらき、社会的なつながりが弱くなった状態をフレイルと呼び、そのまま放置すると、要介護状態になる可能性もあります。フレイルの予防のために毎日の食事について考えてみましょう。

食事は活力の源です。3食しっかりとっていますか？主食・主菜・副菜がバランスよく組み合わされていますか？いろいろな食品を食べていますか？日々の食事がしっかりフレイル予防に結びついでいます。

また、高齢の方は加齢と共に筋たんぱくの合成が

遅くなるため、より一層たんぱく質を含む食品をとることが大切になります。

たんぱく質は肉や魚、卵、豆腐、乳製品の他、ご飯やパンにも含まれています。朝食にヨーグルトを追加したり、おやつタイムに豆乳ラテ、夕食のみそ汁を豚汁に変えるなど、たんぱく質が豊富に含まれている食品を足したり置き換えたりしてたんぱく質をとるための工夫をしてみましょう。



### 健康診断でわかること！<6>



健診でおこなう血液検査では「肝臓や胆道系の状態」「すい臓の状態」がわかります。肝臓も「沈黙の臓器」といわれ、症状が現れたときには病気が進行している場合があります。肝機能の項目も健診で注目したい数値のひとつです。

#### 健診結果の肝機能の項目（みみなし診療所健診結果票より）

肝機能	項目名	基準値	単位	今回	判定
	AST(GOT)	10-40	U/I		
	ALT(GPT)	6-30	U/I		
	γ-GTP	48 以下	U/I		

#### 検査項目の解説

AST(GOT) ALT(GPT)	肝臓に存在する酵素。肝臓の細胞が障害を受けると血液中に漏れ出して、数値があがる。AST、ALT とともに高値の場合は、肝障害の疑いもある。
γ-GTP	解毒作用に関する酵素。肝臓・胆道系の障害で高値を示す。アルコールに敏感に反応するので、アルコール性肝障害を調べる指標。アルコールの飲みすぎや肥満によって高値が出る。

#### 肝臓のはたらき

肝臓は、ヒトの体で最も大きい臓器で、次の3つの大切な役割を担っています。

- ① 炭水化物（糖質）・脂肪（脂質）・たんぱく質の代謝と貯蔵
- ② アルコール・薬の成分・有害物質・体内の老廃物などの分解と排泄
- ③ 脂肪の消化に必要な胆汁の生成と分泌

私たちが毎日の食事などで食べたものは、胃や腸で吸収されやすい形に変えられて肝臓に送られます。肝臓でいろいろな成分に加工され動脈を通って必要な場所に届くしくみです。肝臓になんらかの障害が起こり、このしくみがうまく機能しなくなると、さまざまな病気につながります。しかし肝臓の病気は、重症化するまで自覚症状がないのが特徴で早めの健診受診がとても重要です。



肝臓の病気は、ウイルス、アルコール、生活習慣が主な原因となって起こるといわれています。

B型肝炎、C型肝炎は血液を介して肝臓に感染します。最近では、輸血血液のチェックやワクチンの普及で感染を防ぐことができるようになってきています。

アルコールの飲みすぎは肝臓に負担をかけ、脂肪肝を引き起します。それでも飲み続けると、アルコール性肝炎になり、腹痛や発熱、黄疸などの症状が出て重症化し、死亡する場合もあります。アルコール性肝臓病の最終段階が肝硬変です。腹水、黄疸、吐血などの症状が現れ、ここまですると治療がむずかしくなります。

非アルコール脂肪性肝炎は、過食、運動不足、肥満、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣が原因で脂肪肝を発症します。

#### 肝臓の病気は早期発見がポイント！

「沈黙の臓器」といわれる肝臓、お酒を飲んでいる人もそうでない人も定期的に健診を受けておくことが早期発見につながります。血液検査では、すい臓の状態も合わせてわかります。脂肪肝は症状がほとんどなく腹部エコー検査でわかる場合が多いので健診とセットにして受診しておきましょう。

r-GTPの数値が高い場合はお酒を飲みすぎている可能性大！お酒の量を「日本酒なら1合」「ビール中びん1本程度」に控え、休肝日をつくることも大切です。適度な運動とバランスの良い食事も心がけましょう。

<厚生労働省HP>

\*シリーズ「健康診断でわかること！」は今回で終わります。

#### くらしや医療についての相談窓口

コロナ禍でくらしや健康に不安やお悩みをお持ちの方、お困りの方、どのようなご相談でもお受けします。

個人のプライバシーは厳守いたしますので、安心して遠慮なくお電話してください。

奈良県医療福祉生活協同組合

☎0744-23-1170

月火金 10:00~15:00

担当：榎並（えなみ）

